学校番号	208

令和８年度　芸術科(書道)

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰの学習を基盤に、鑑賞能力を高め、創造力を伸ばす
・「鑑賞」教材などで近現代の書家の作品に触れ、書に関する関心を高める
・生涯にわたり書を愛好する心情を育てる
・印の歴史や用法理解、篆刻作品を制作する

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理科している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の書	・篆書の美 「石鼓文」 「甲骨文」 ・印の歴史用法・創作 ・隷書の美 「礼器碑」 「張遷碑」 「開通褒斜道刻石」 ・草書の美 「十七帖」 「自叙帖」 ・「集王聖教序」 ・「温泉銘」 ・「蜀素帖」	a.　書体を構成する様々な要素について理解している。 a.　書体の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 a.　印や刻字を構成する様々な要素について理解している。 a.　印や刻字の書の変化や調和等による全体の構成を身に付けている。 b.　書道Ⅰの学習を踏まえて、表現形式に応じた全体の構成について構想し、工夫している。 b.　古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 b.　歴史的な印や刻字の価値とその根拠について考え、印や刻字のよさや美しさを味わって捉えている。 c.　書のよさや美しさを甘受し、作品や書の価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 c.　各書体の良さや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り込もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りシート 観察

二学期	仮名の書	・平仮名・変体仮名・連綿 「関戸本古今和歌集」 ・「継色紙」 ・創作 「俳句をつくろう」	a. 仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 a. 仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 a. 墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b. 書道Ⅰの学習を踏まえて、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b. 仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 b. 感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c. 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りシート 観察

三学期	漢字仮名交じりの書	・古典を生かした表現 ・自分の意図に応じた表現 ・言葉と書の調和 ・創作 言葉と書を調和させよう 書の美や風趣を味わおう	a. 漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 a. 漢字仮名交じりの書の特質とその歴史について理解している。 a. 目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている b. 書道Ⅰの学習を踏まえ、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b. 漢字仮名交じりの書の作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c. 漢字仮名交じりの書のよさう美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の不学習に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	 振り返りシート 観察